

生活調べアンケート 第1回調査結果

実施目的

新型コロナウイルス感染症の影響により目まぐるしく社会状況・生活環境が変化する中で、児童生徒には様々な心身のストレスがかかっている可能性がある。そのため、児童生徒の心身の状態を捉え、学校生活への不適應の未然防止・早期発見をすべく「生活調べアンケート」を実施した。

対象

令和4年5月20日～6月3日（タブレットを使いGoogleフォームで回答）

実施期間

奈良市立学校 小学生（小2～小6）
中学生（中1～中3）

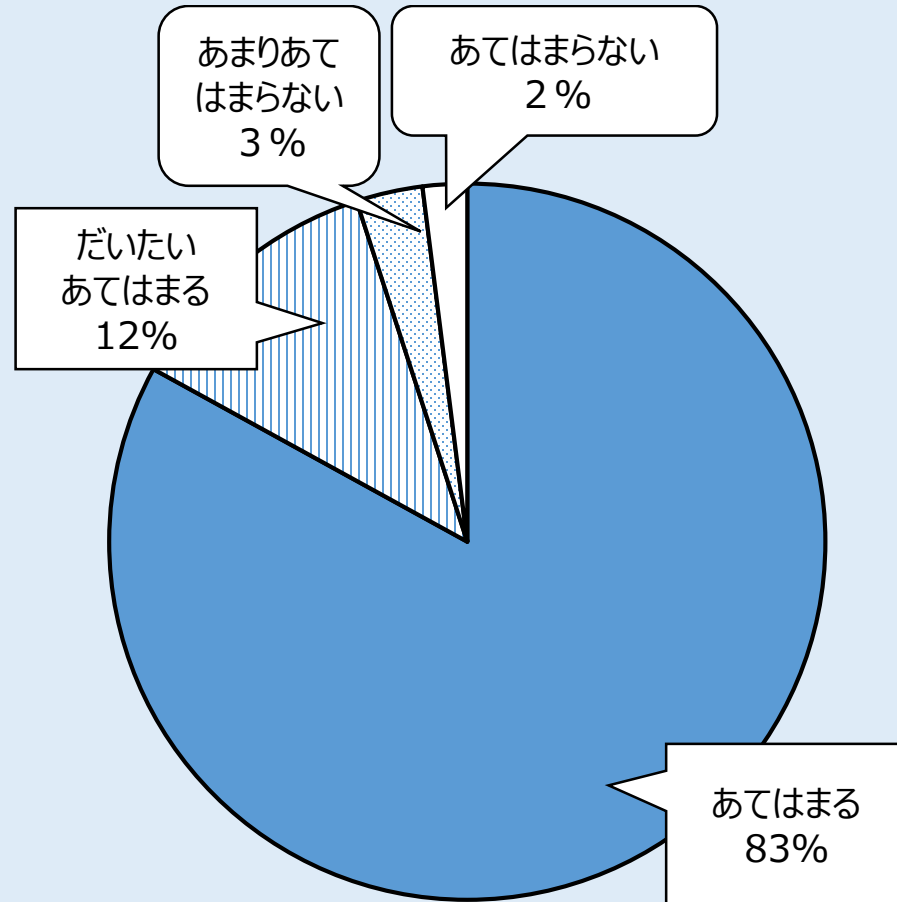
アンケート調査内容

大項目	小項目
①気持ちの安定度について	5項目
②生活の安定度について	4項目
③困ったときにSOSが出せるかについて	2項目

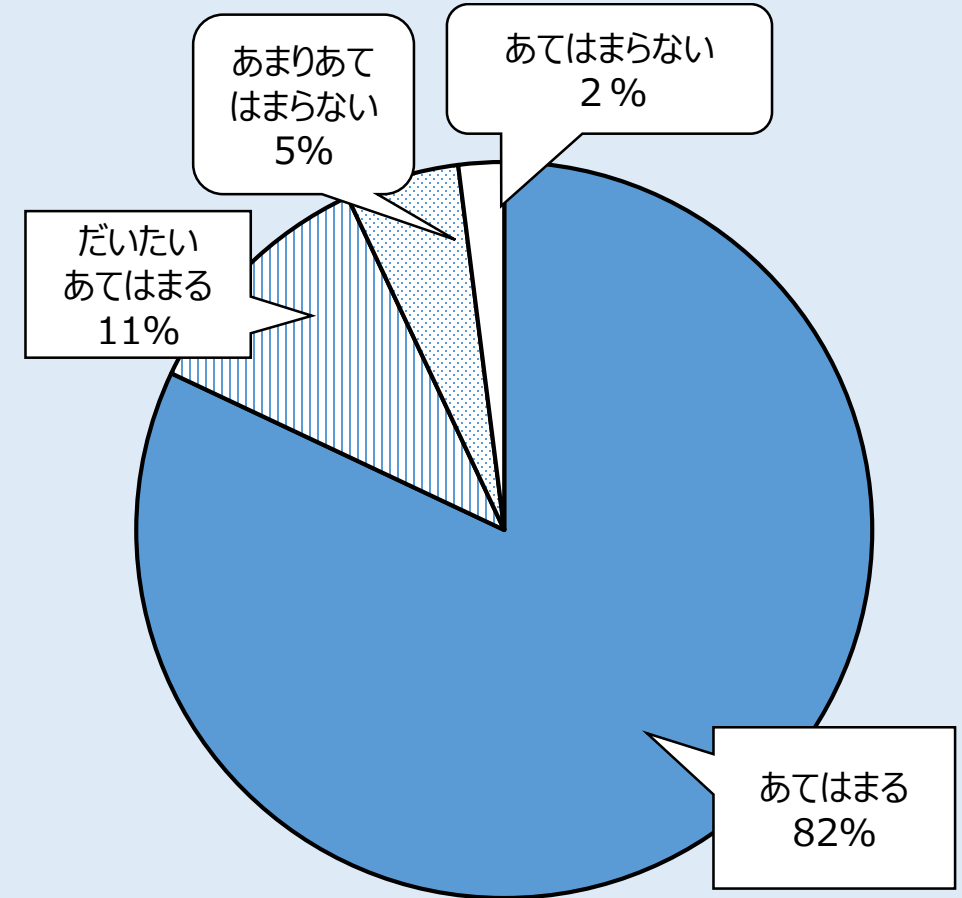
質問1	朝ごはんや昼ごはんを食べている
質問2	なかなか眠れないことがある
質問3	勉強に集中できないことがある
質問4	むしゃくしゃしたり、イライラしたり、かっとなったりする
質問5	何事もやる気がおきない
質問6	頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある
質問7	体を動かすなど、よく運動している
質問8	毎日が楽しい
質問9	悩みごとを話せる人や場がある
質問10	困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる
質問11	学校や家で何か不安を感じたことがある

質問1 朝ごはんや昼ご飯を食べている

小学生

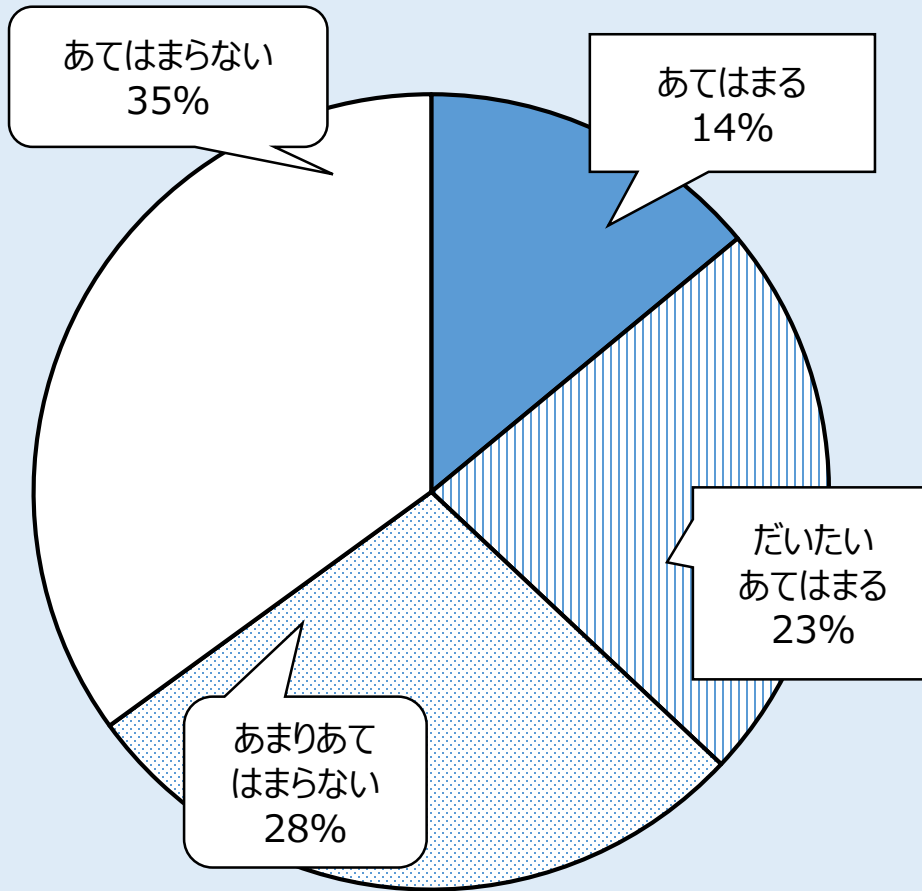


中学生

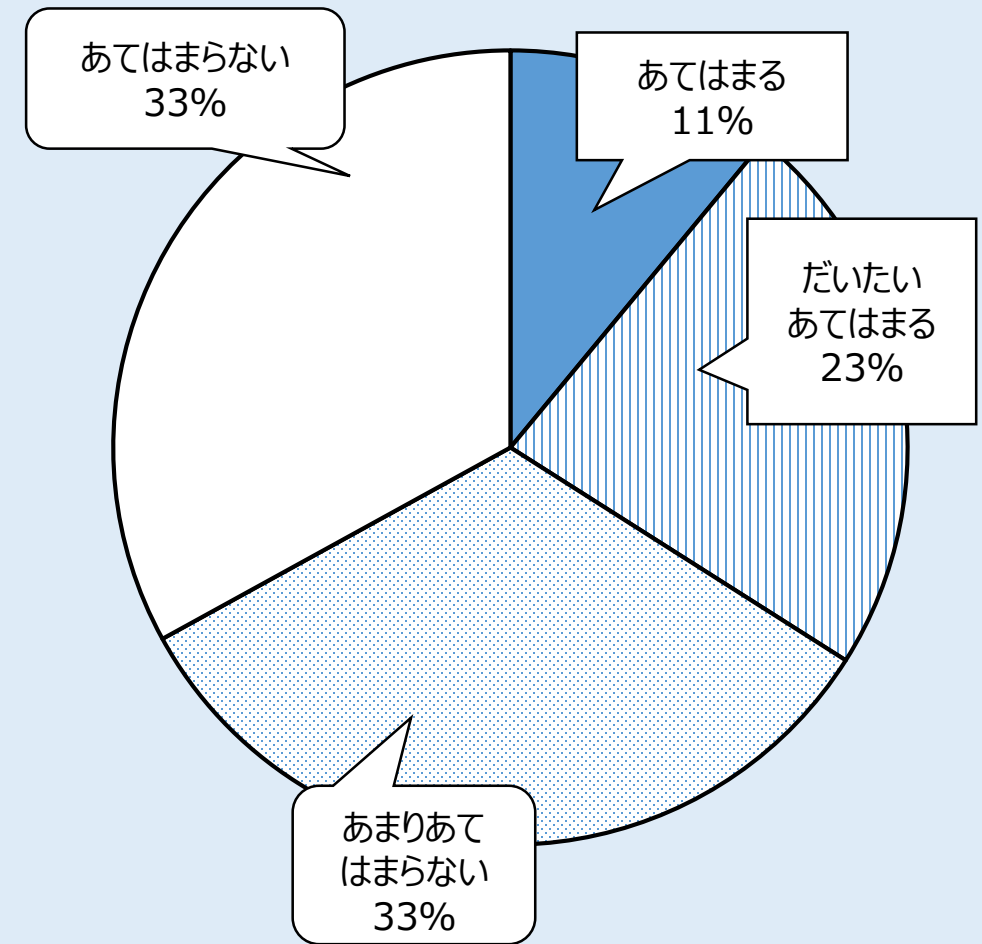


質問2 なかなか眠れないことがある

小学生

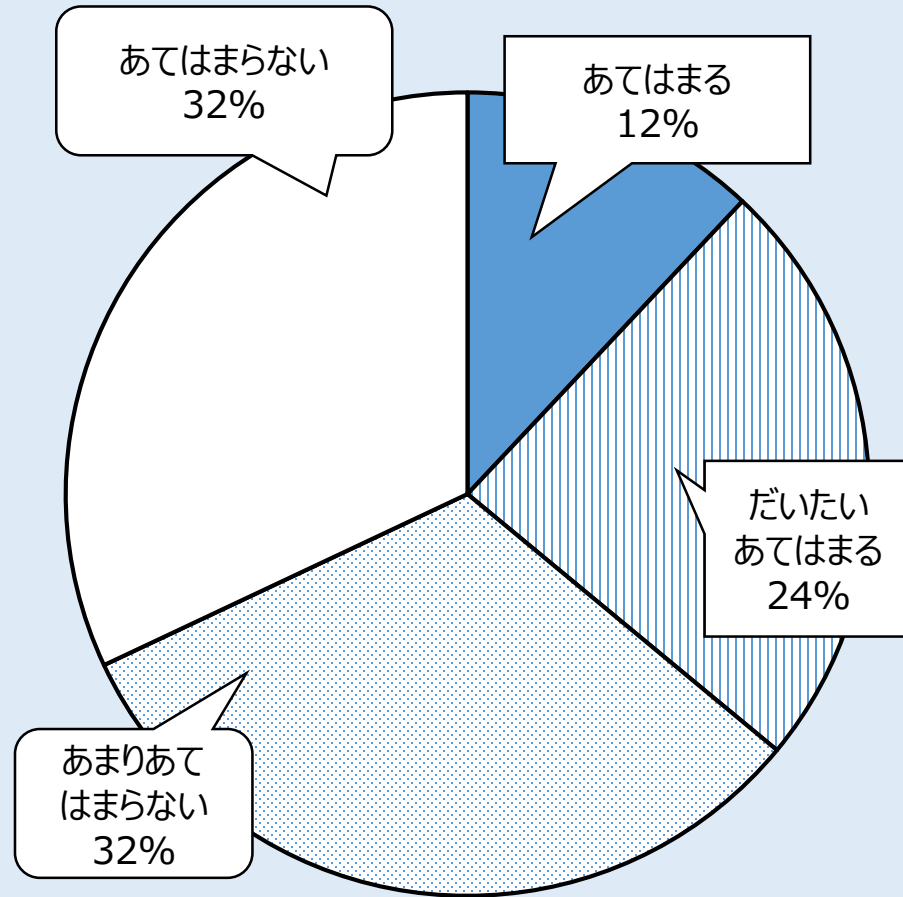


中学生

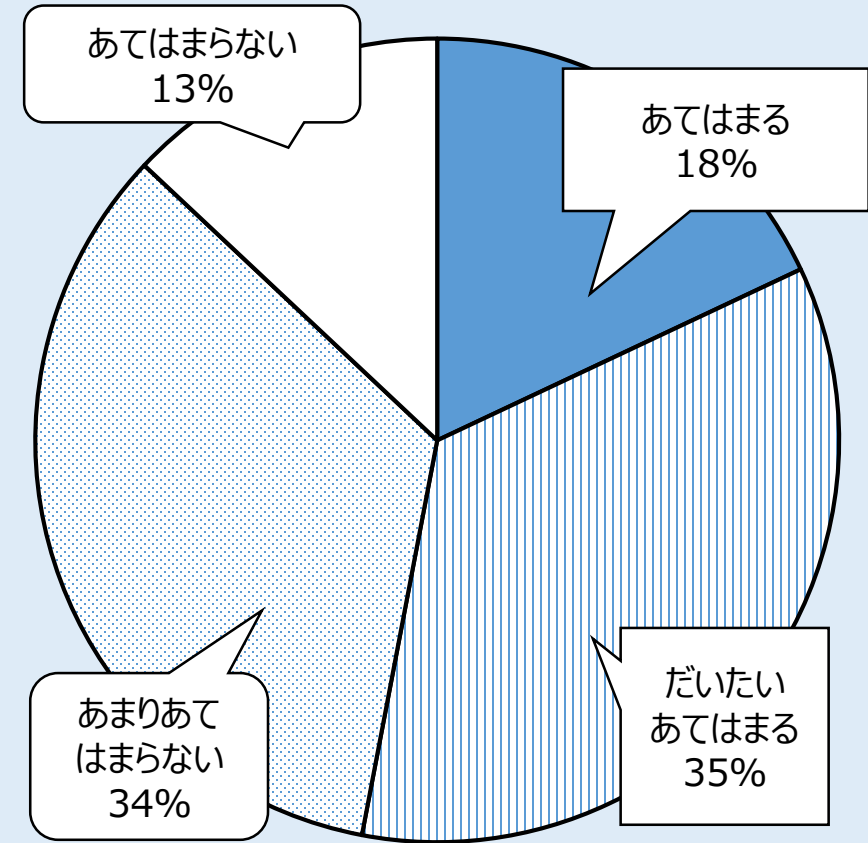


質問3 勉強に集中できない

小学生

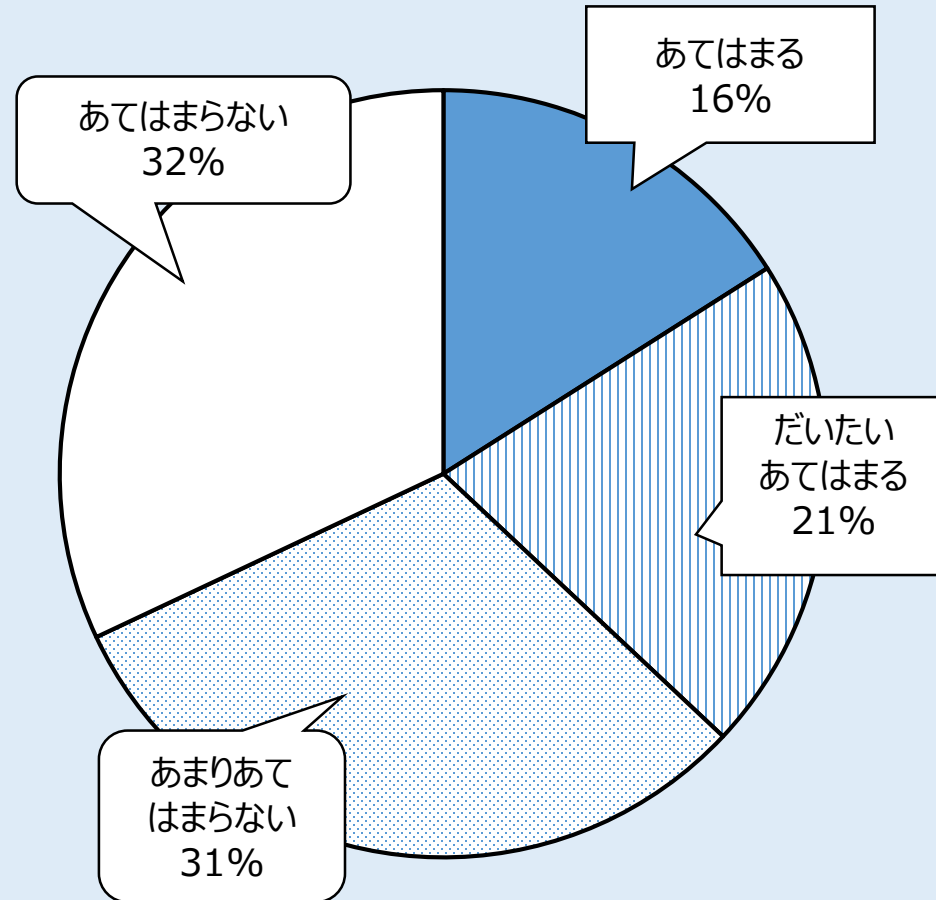


中学生

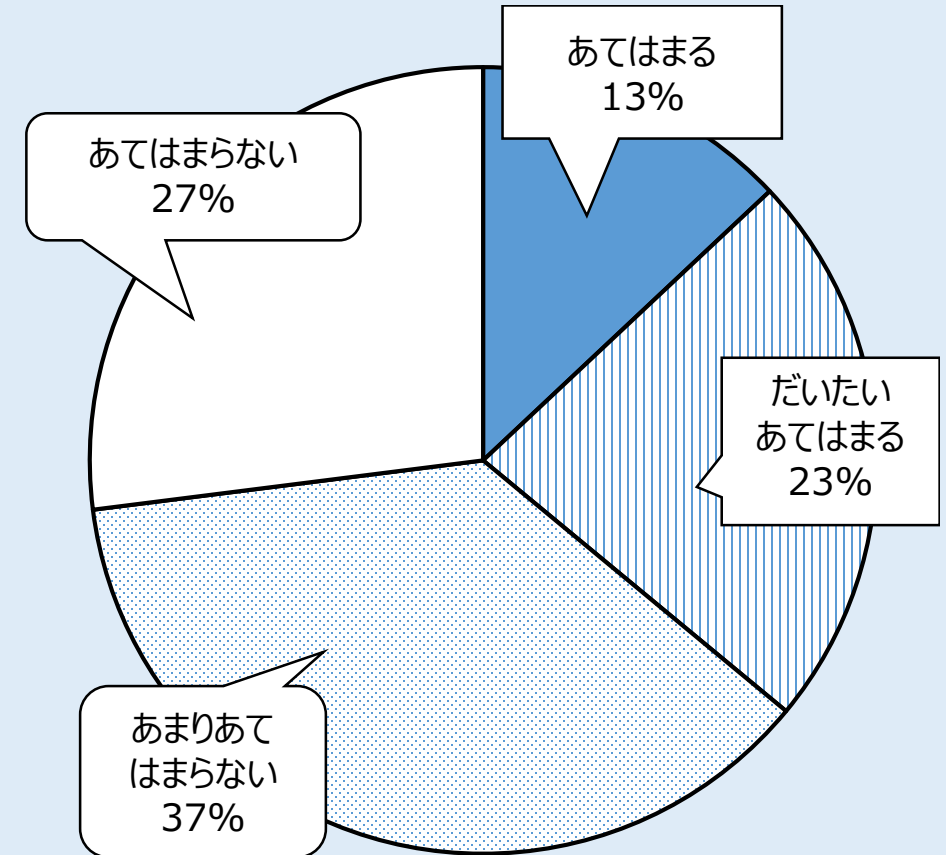


質問4 むしゃくしゃしたり、イライラしたり、カッとしたりする

小学生

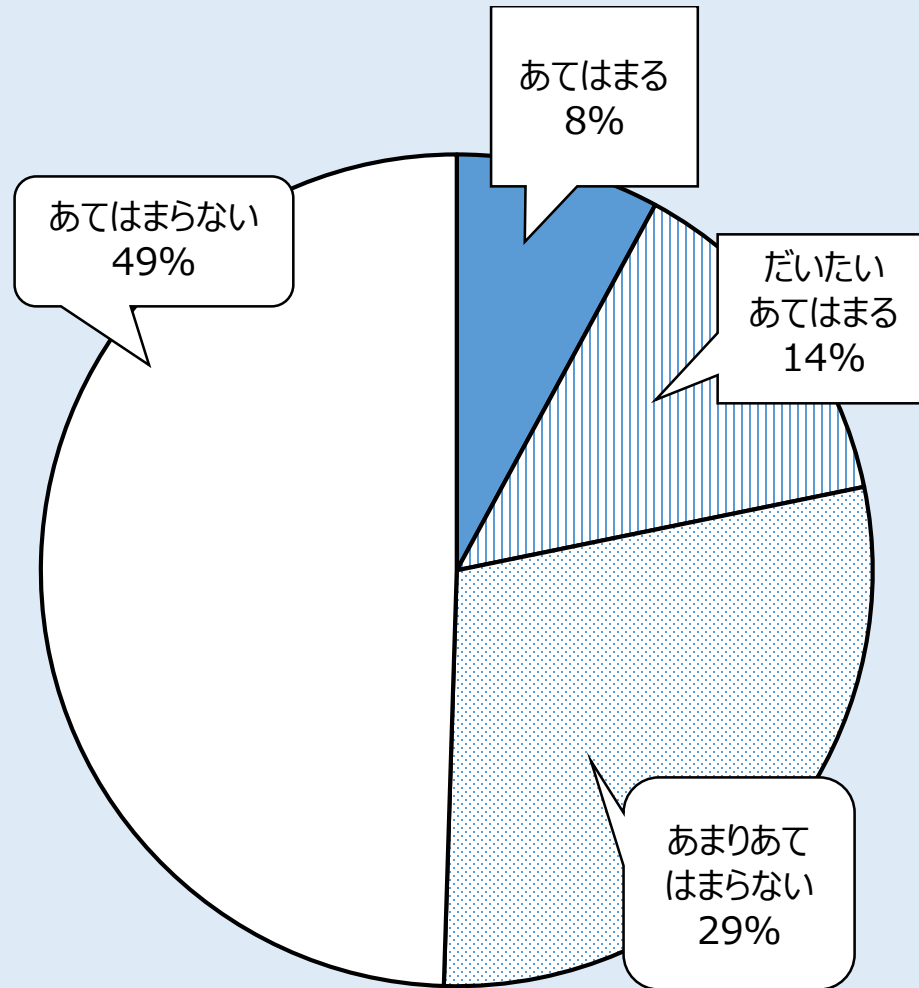


中学生

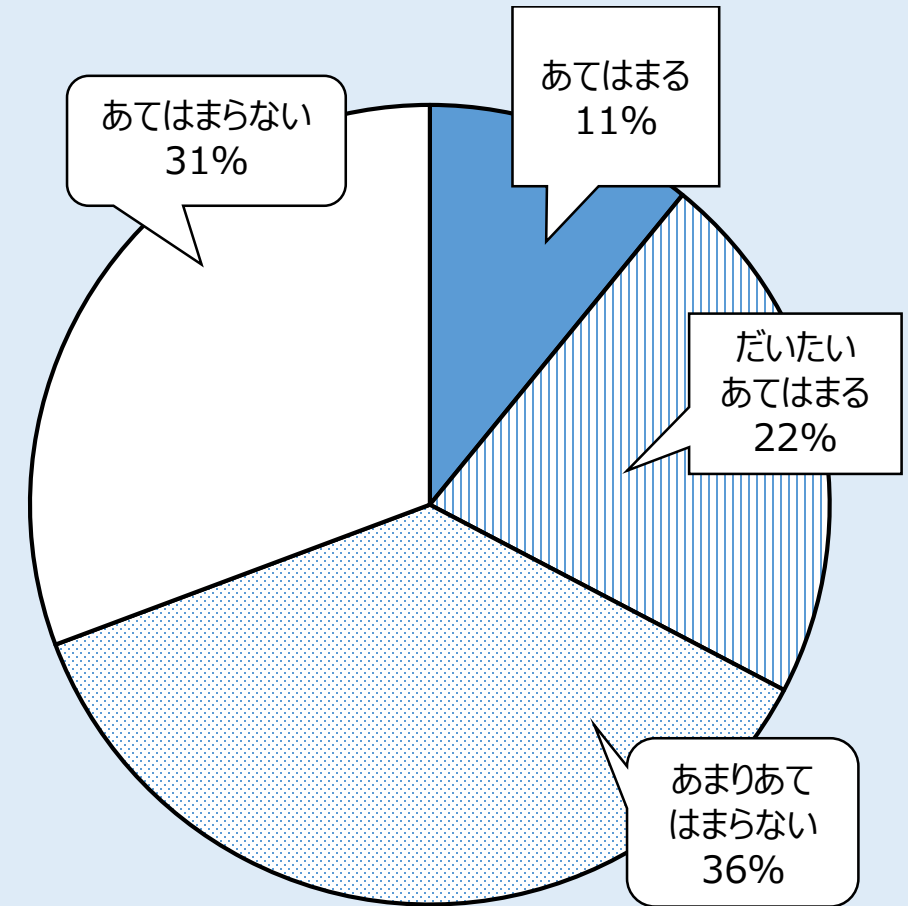


質問 5 何事にもやる気がおきない

小学生

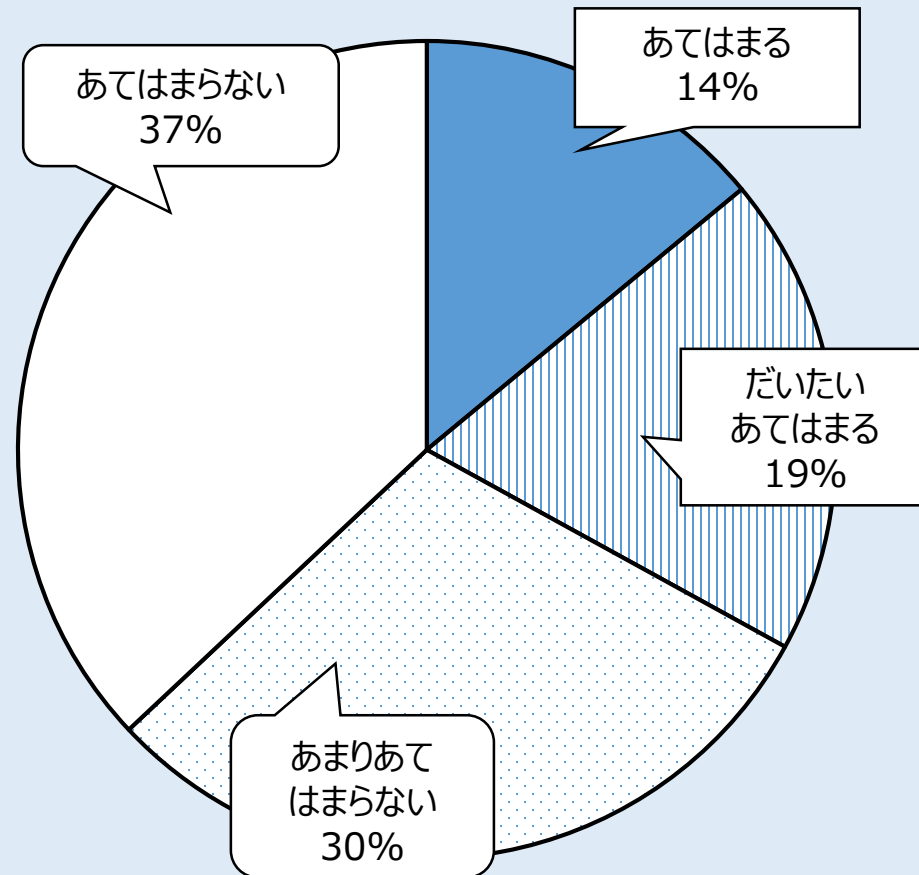


中学生

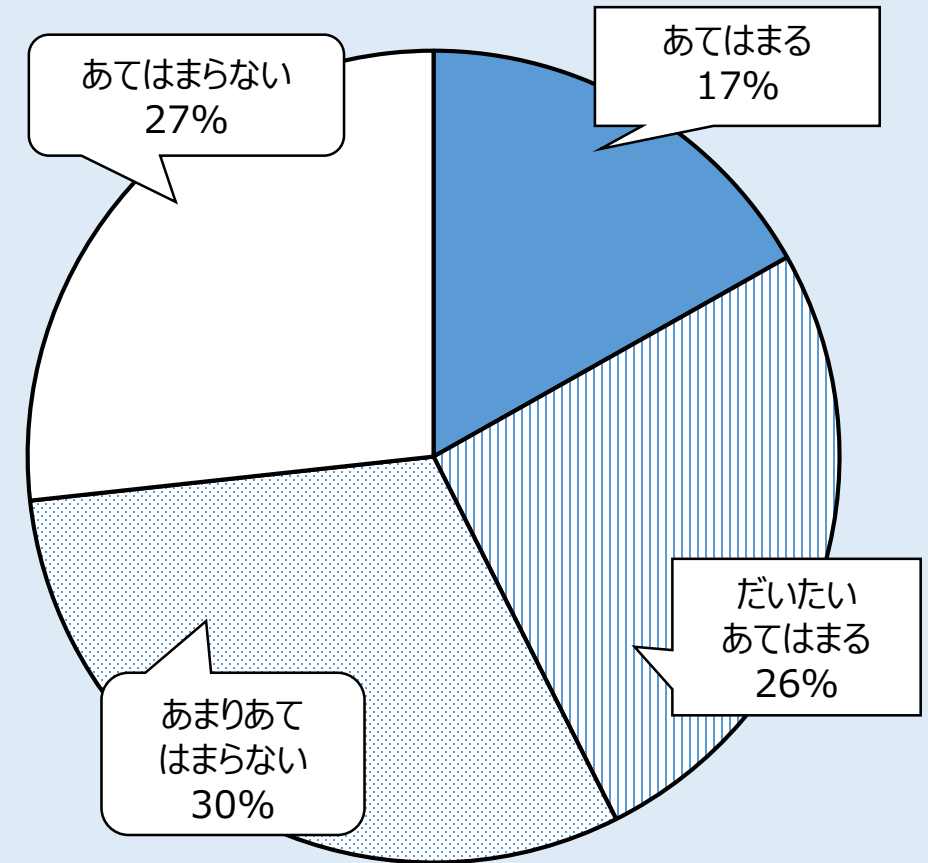


質問 6 頭やお腹が痛いなど、体の調子が悪いことがある

小学生

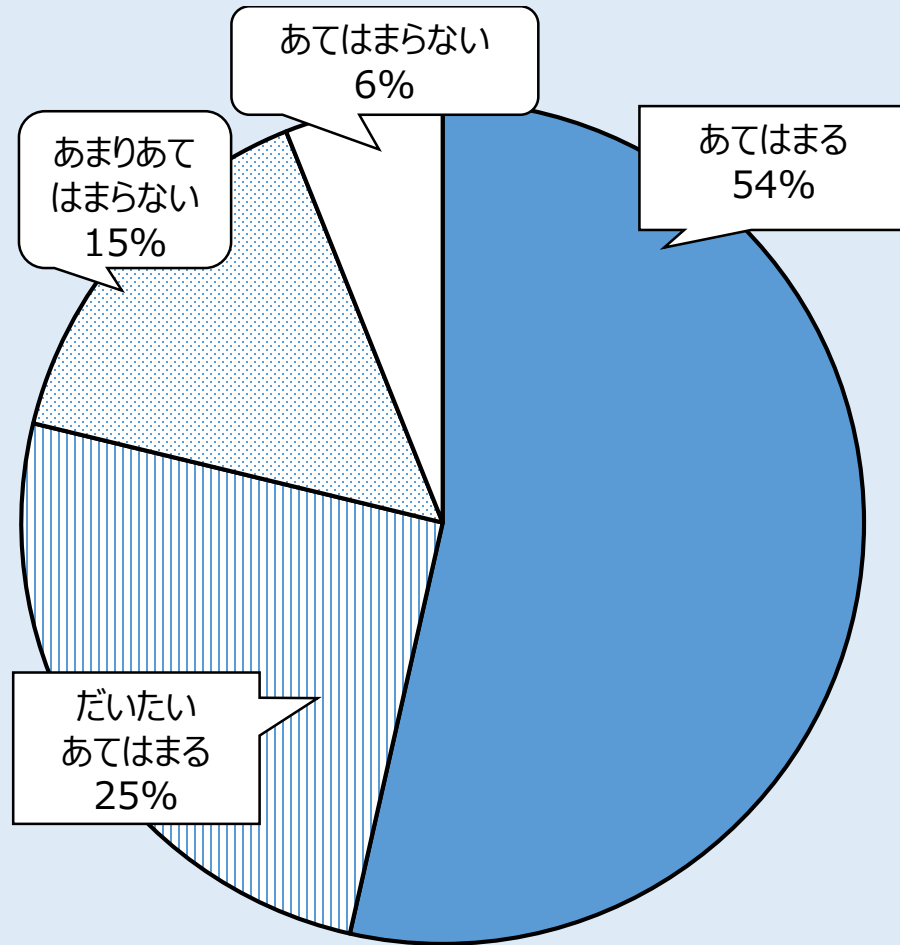


中学生

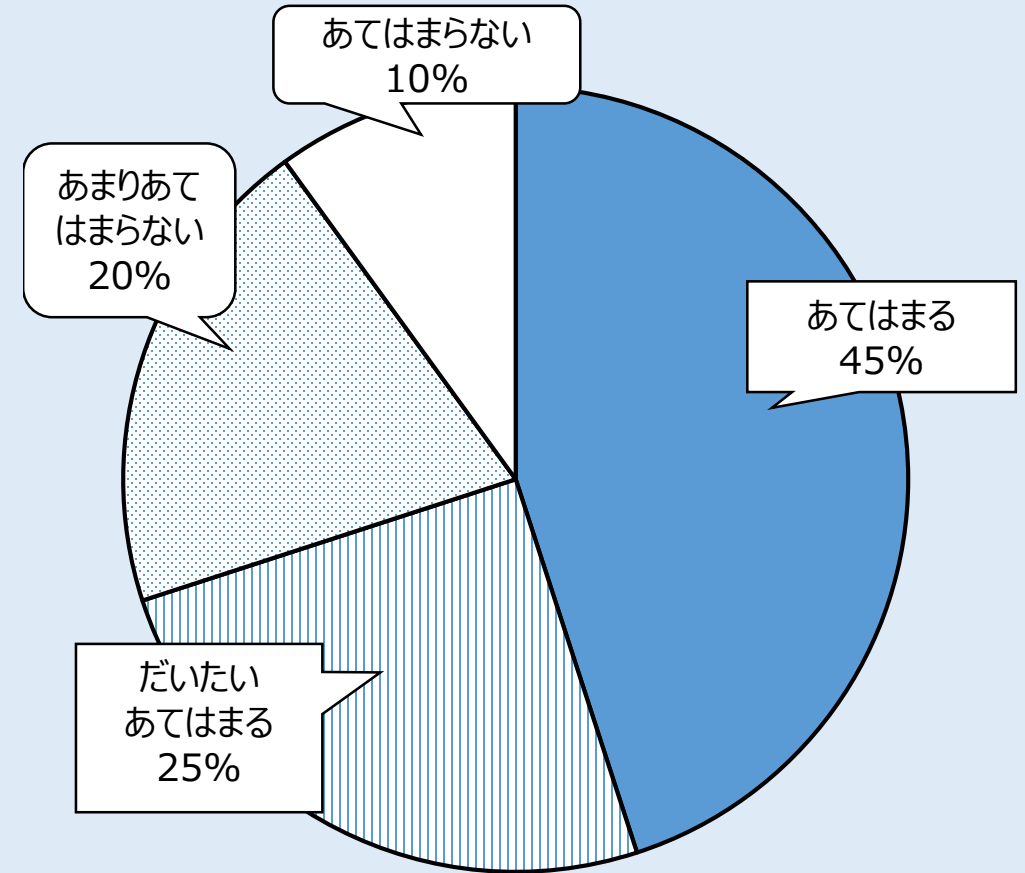


質問7 体を動かすなど、よく運動している

小学生

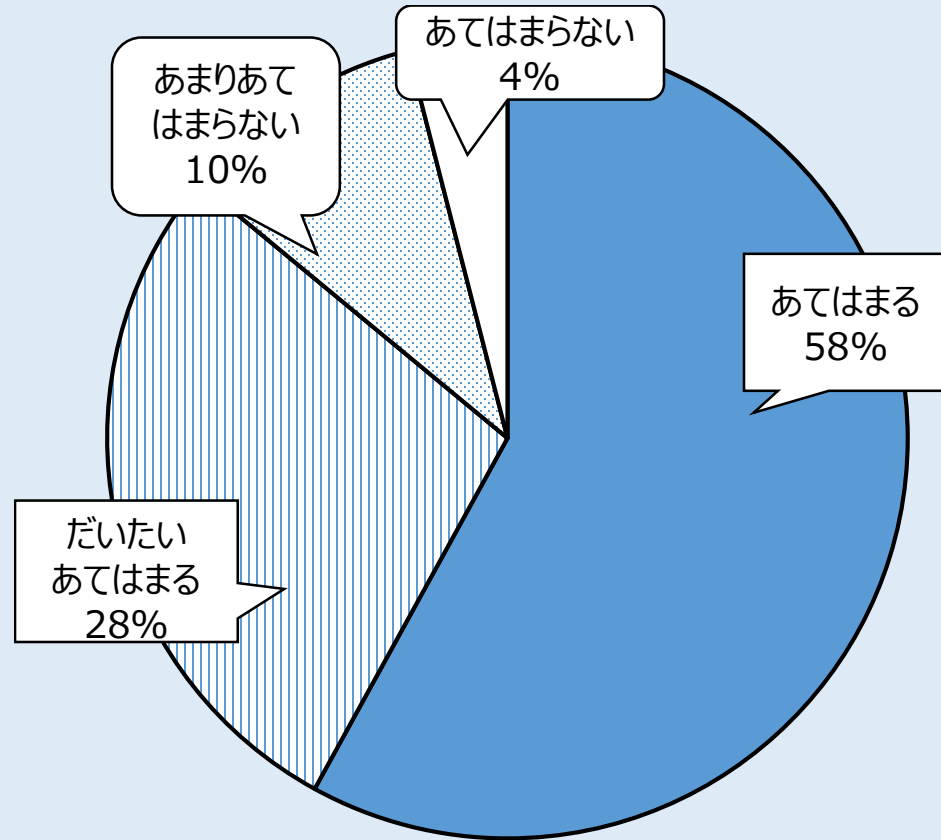


中学生

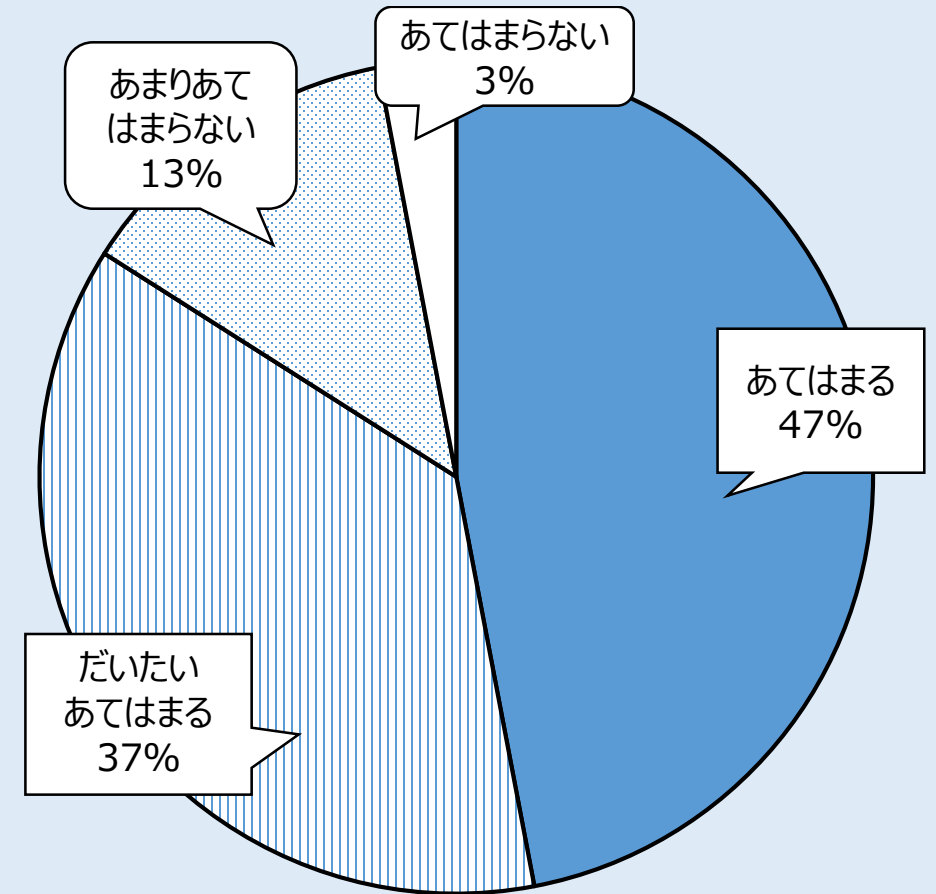


質問 8 毎日が楽しい

小学生

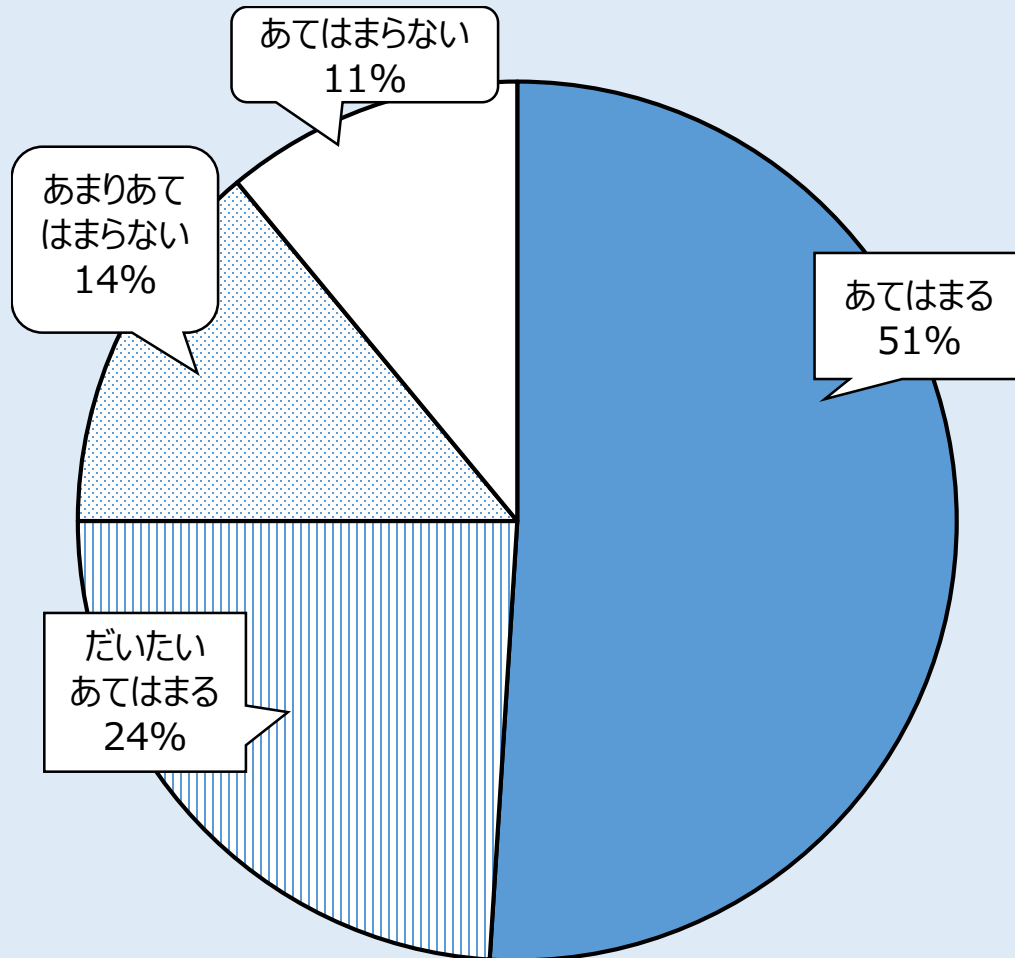


中学生

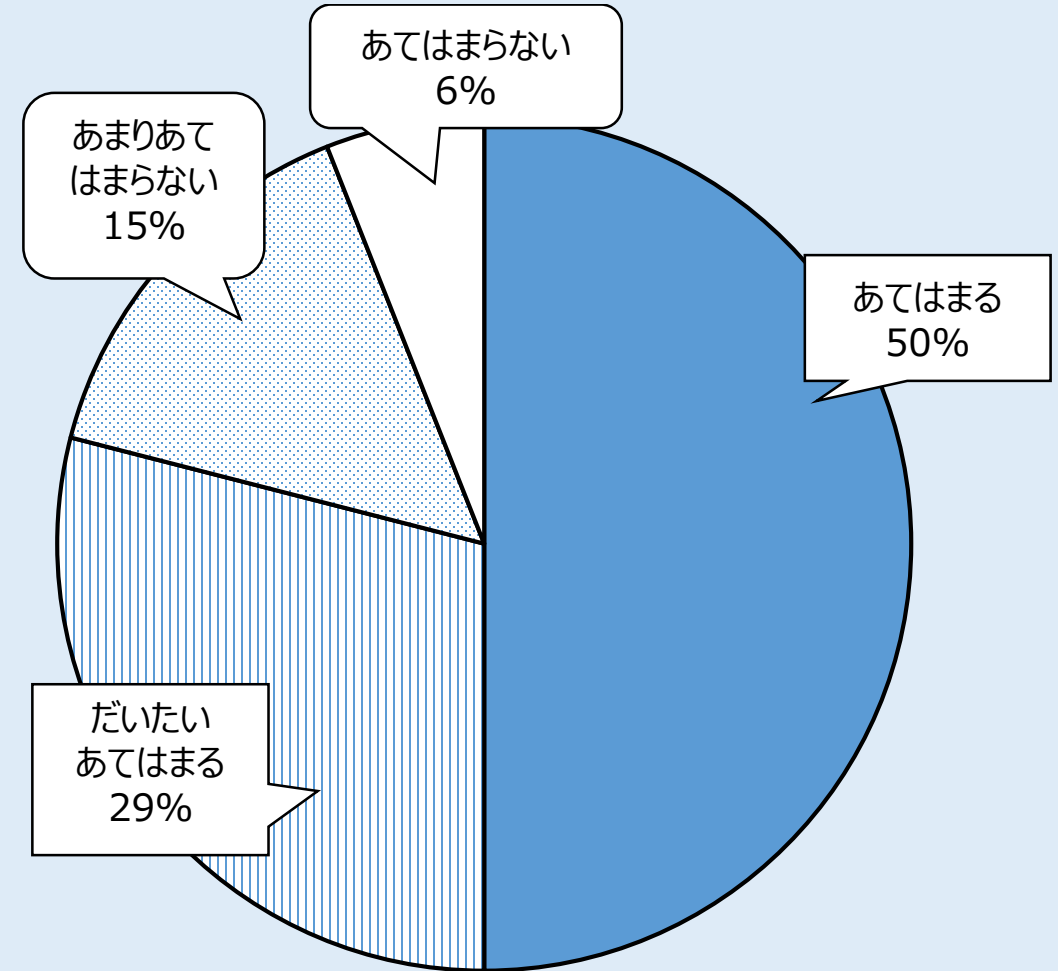


質問9 悩みごとを話せる人や場がある

小学生

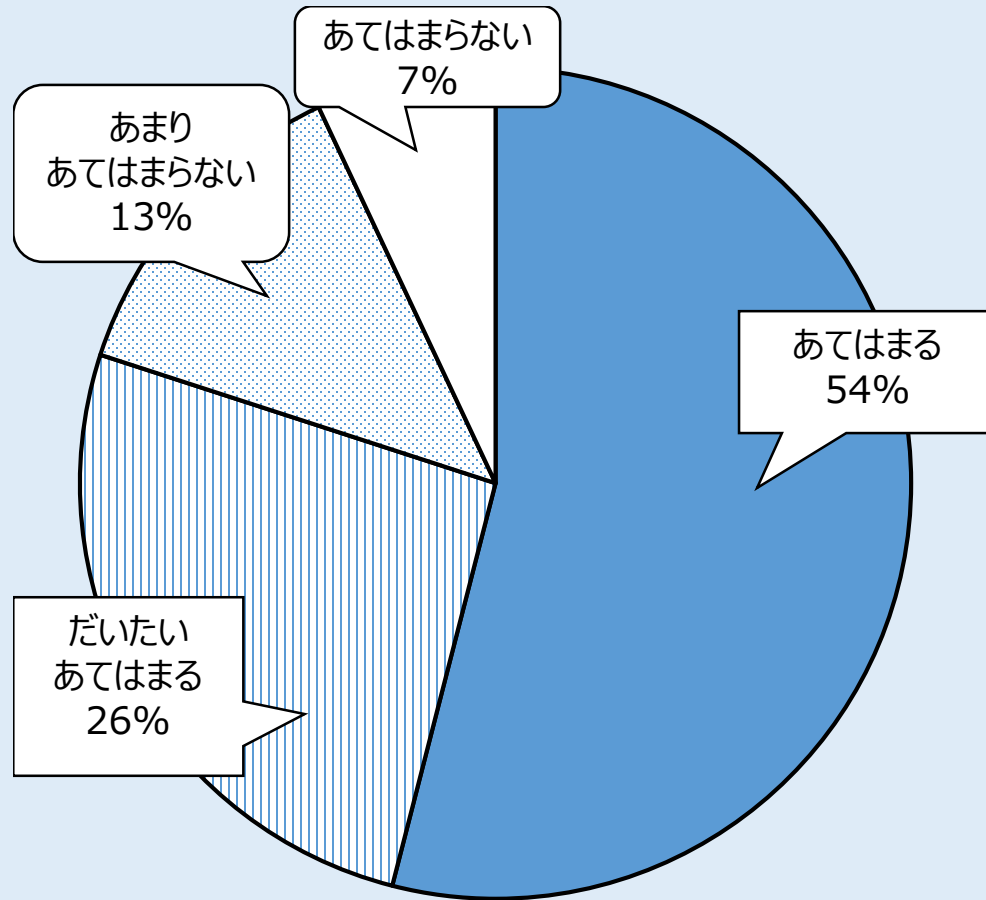


中学生

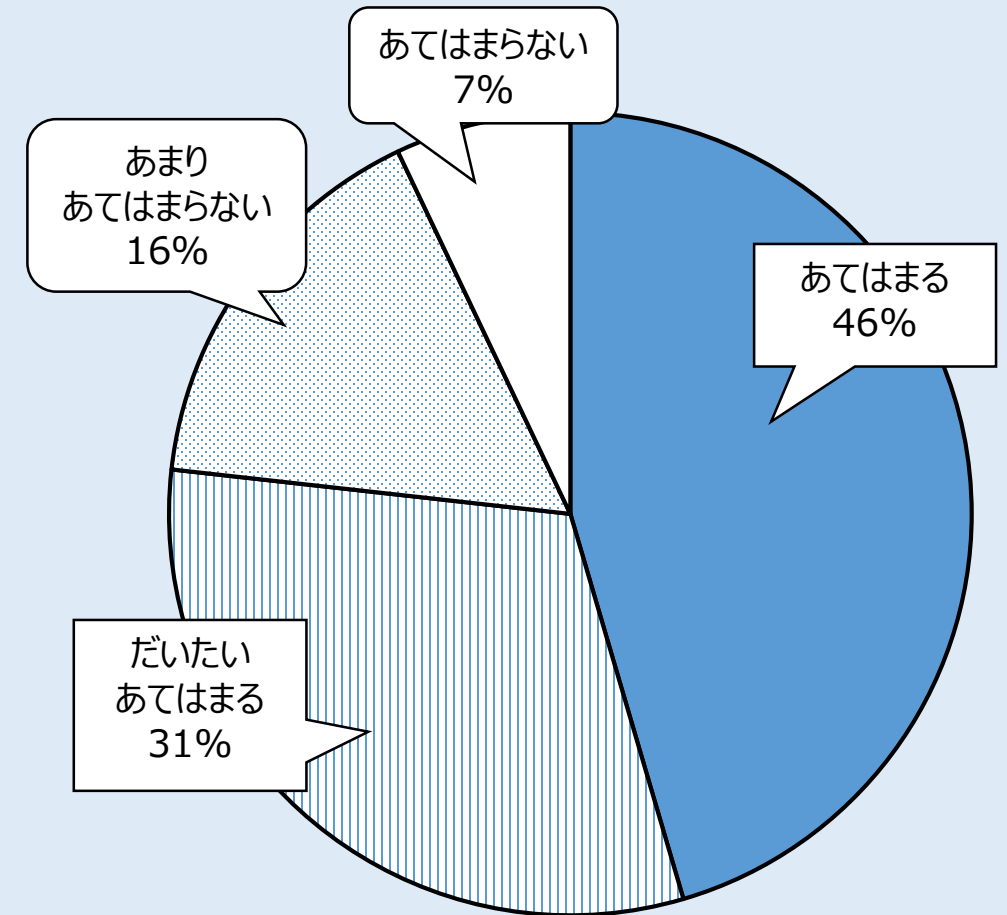


質問 10 困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる

小学生

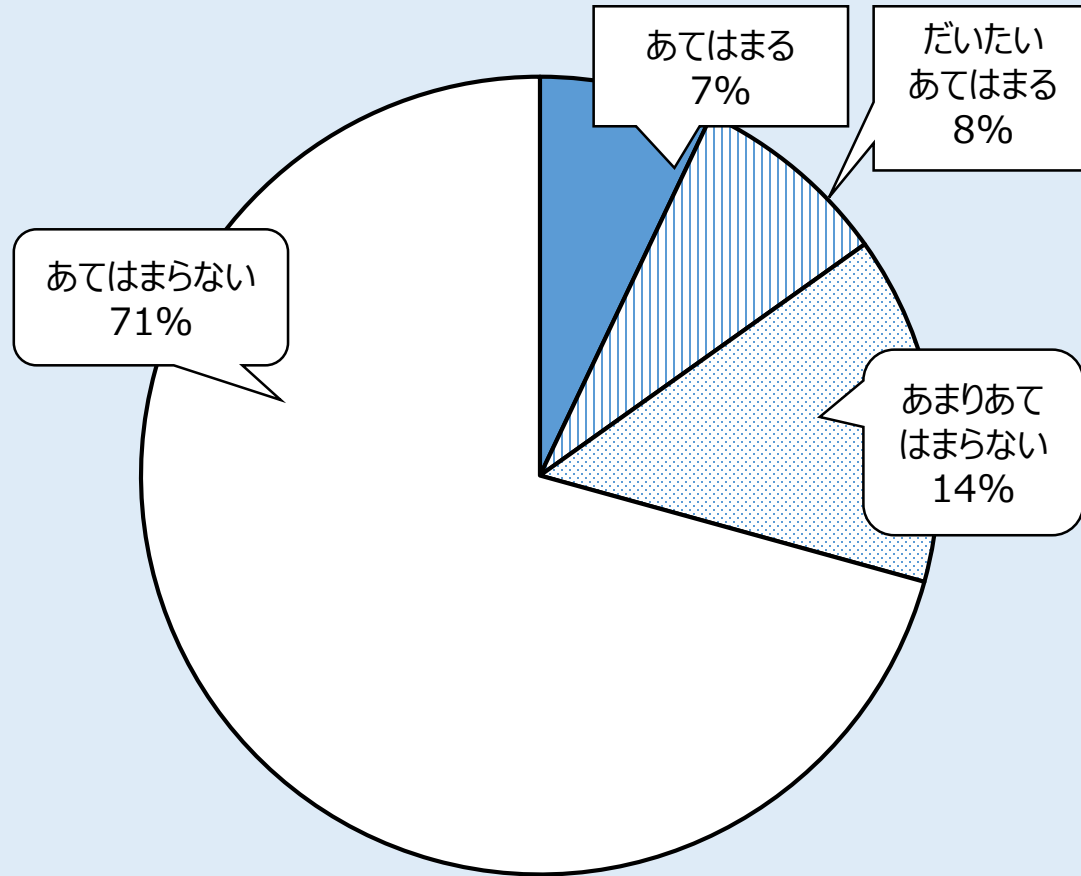


中学生

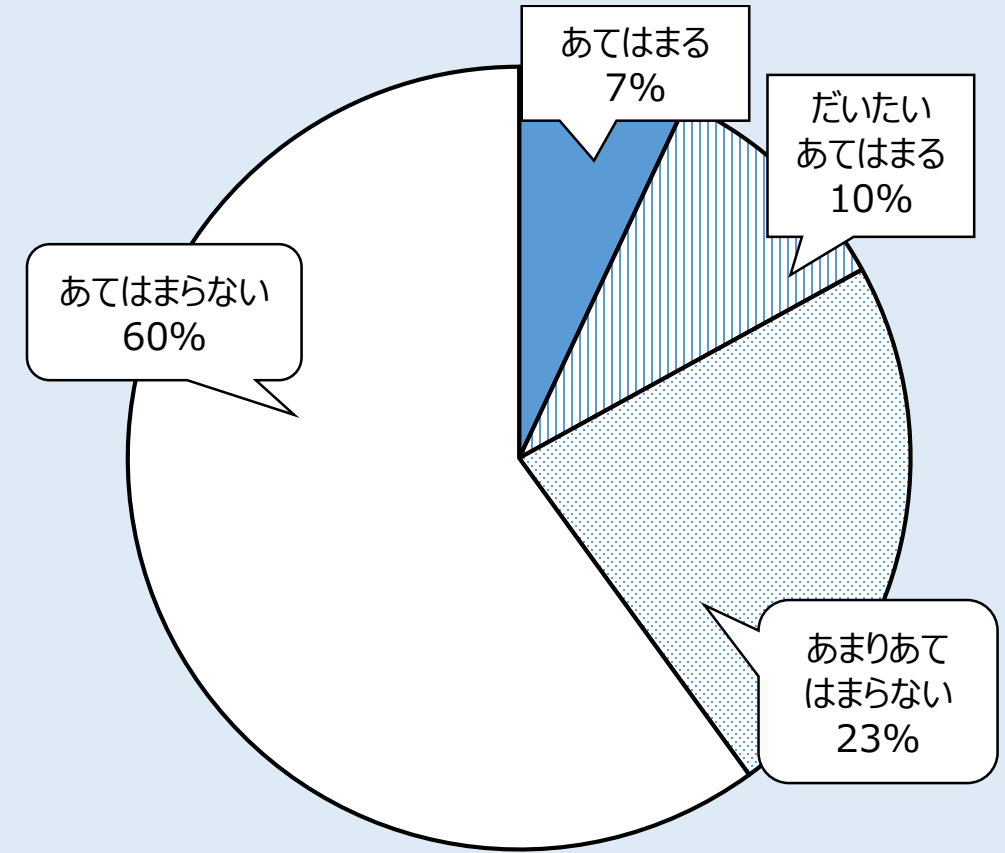


質問 1 1 学校や家で何か不安を感じたことがある

小学生



中学生



結果のまとめ

➤ ①全体的な結果について

- ・多くのアンケート項目が、令和3年度の同時期に比べると安定してきていた。

➤ ②項目ごとの結果について

- ・質問1「朝ごはんや昼ごはんを食べている」で「あてはまらない」と回答した児童生徒が2%～3%だった。ほとんどの児童生徒が他の回答をしていることを鑑みると、背景に虐待や摂食障害などが心配されるためこれらに該当する児童生徒は今後も注視していく必要がある。
- ・質問9「悩みごとを話せる人や場がある」、質問10「困ったときに、学校の先生や家の人に頼ることができる」で75%～80%の児童生徒が相談を求められる相手がいることが示された。
- ・質問8「毎日が楽しい」が、小中共に昨年度の同時期よりあてはまる、だいたいあてはまると回答した児童生徒が多くなっており、質問9・質問10の結果と相関が見られた。相談ができるなどの精神的な支えがあることによって毎日が楽しくなっていくと考えられる。
- ・質問11「学校や家で何か不安を感じたことがある」が昨年度の同時期と比べ、あてはまる、だいたいあてはまると回答した児童生徒が減少しており、学校や家庭での不安が和らいできていると考えられる。

➤ 実施後の取組

- ・アンケート調査結果と分析を前回との比較も含め市立小中学校教員へフィードバック
- ・学校で教員が、個々の子ども達のアンケート結果を踏まえ、声かけや日常の様子を見守る
- ・SOSを発信しにくい子どもたちとの信頼関係づくりのためのアクションプランの継続
⇒今回の結果を受けて、6つの視点を教員に向けて追加提示